

104-30

問題文

主に電位依存性 Na^+ チャネルを遮断することで抗てんかん作用を示すのはどれか。1つ選べ。

1. エトスクシミド
2. ジアゼパム
3. ラモトリギン
4. ガバペンチン
5. フェノバルビタール

解答

3

解説

選択肢 1 ですが

エトスクシミドは、T 型 Ca^{2+} チャネル遮断タイプです。 Na^+ チャネル遮断ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ジアゼパムは、ベンゾジアゼピン（Bz）系の薬です。GABA 受容体タイプの薬です。 Na^+ チャネル遮断ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

ラモトリギン（ラミクタール）は双極性障害にも用いられることがあります。

選択肢 4 ですが

ガバペンチンは、2つの作用機序により効果を発現します。 Ca^{2+} チャネル $\alpha 2\sigma$ リガンドとしての作用と、GABA トランスポーター活性化です。 Na^+ チャネル遮断ではありません。

よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

フェノバルビタールは GABA 受容体に作用することにより、抗てんかん作用を示します。 Na^+ チャネル遮断ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3 です。

類題